

タフセンサ式 盛土・のり面崩壊検知システム

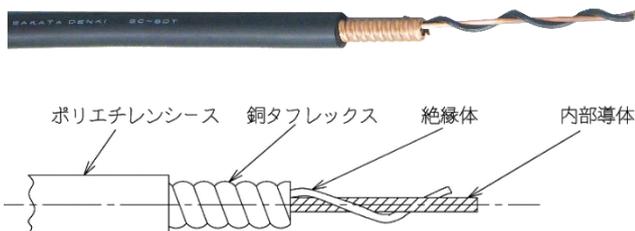
概要

タフセンサ式盛土・のり面崩壊検知システムは、鉄道や道路などの盛土、切土斜面の崩壊、防護柵への落石を検知するシステムです。

検知システムは、崩壊監視区間に埋設したタフセンサと落石検知装置、警報伝達機器で構成され、崩壊または落石を常時監視し、警報を遠隔地に伝達する信頼性の高いシステムです。ケーブル状のタフセンサで監視するため、監視対象を連続して監視が可能です。

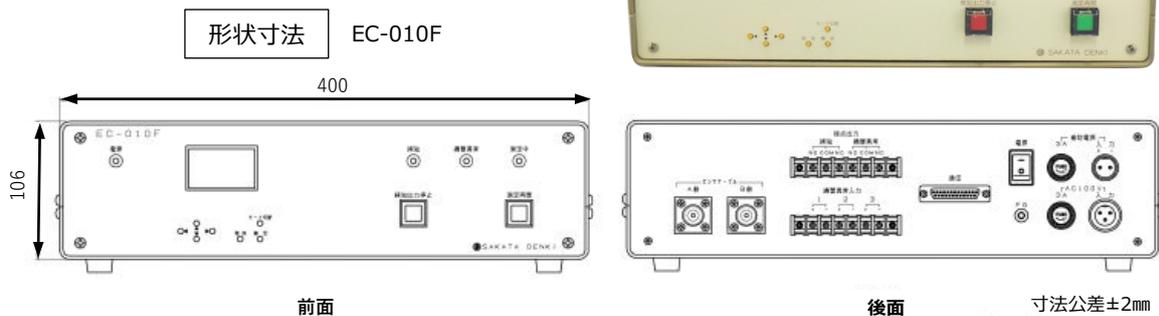
タフセンサケーブル(SC-SDT)

タフセンサケーブルは、土砂崩壊あるいは落石などによるケーブルの変形を検知装置により検出します。



落石検知装置(EC-010F)

斜面崩落および落石の危険地域に敷設されたタフセンサケーブルに発生した障害の位置を検知し、検知信号を出力する装置です。



特長

- センサ信号ケーブルの両端から検知する信頼性高いシステムです。
- 崩壊位置の検知精度は20m※1です。
- 最長1.5kmの設置範囲で監視が可能です。
- 直接埋設、防護壁等への取付が可能です。
- ケーブルの耐用年数は10年です。
- 自己診断機能により機器の異常時も信号出力可能です。
- 各種信号通信システムの接続が可能です。
(有線、無線、携帯電話、衛星通信など)

仕様

名称	タフセンサケーブル	名称	落石検知装置
型式	SC-SDT	型式	EC-010F
シース材質	ポリエチレン(黒)	測定範囲	最長1,500m※1 (センサ信号ケーブルを含む、接続状況による)
外部導体	銅タフレックス	表示分解能	1m
絶縁体	ポリエチレン(黒)	障害検出数	最大2か所
内部導体	軟銅線	電源	AC90V~115V、50/60Hz
仕上外径	12.7mm	動作温湿度範囲	-10~60℃、20%~80% (結露なきこと)
重量	170kg/km	寸法・重量	上記寸法参照・約8kg
		周辺機器	タフセンサケーブル(SC-SDT)、センサ信号ケーブル(PSC-5)、タフセンサ用避雷針(CD-56L2)

※1 バルス幅と距離の目安、精度はお問合せください。

お問合せ



坂田電機株式会社
営業部

住所 〒202-0022 東京都西東京市柳沢2-17-20

TEL 042-464-3711

FAX 042-464-3773

Mail eigyou@sakatadenki.co.jp

WEB www.sakatadenki.co.jp